

## 「全国実業団バレーボール指導者研修会」報告

去る11月4日～5日、愛知県名古屋市におきまして、佐々木厚氏（パナソニックE Sブルーベルズ監督・上級コーチ）を講師に迎え全国実業団指導者研修会を開催しました。

受講生は地元愛知県を中心に43名が受講しました。また9人制女子実業団トップチームのパナソニックE Sのブルーベルズと津アドバンスにモデルチームとしてご参加いただき活気に満ちた研修会となりました。

今回は9人制に特化した講義内容としました。一日目は「私の指導論（座学）」と「バレーボールの体づくり（実技）」。指導論では指導は「論理的」であること、厳しさだけでは選手はついてこないこと、また指導者自らが常に心と体のバランスを良い状態に保つことが大切であることを説かれ、また体づくりでは「股関節」の各種ストレッチ、9人制の試合の中での動きと直結させたトレーニングが多種紹介され受講生の感心を引きました。二日目は「9人制基礎技術の指導ポイント」を前半に、後半はブルーベルズとアドバンスのゲームを通して「試合前のアップ」「ベンチワーク」等について、佐々木講師の貴重なノウハウの一端を披露していただきました。

実技においては一貫してモデルチーム選手と受講生がグループとなり、受講生が選手と同じことを体験する中で、選手達からも直接ポイントを指導していただくなど、例年になく密度の濃い内容となりました。

最後になりましたが、本研修会開催に当たりご協力を賜りました奥村会長・澤村理事長はじめ愛知県実連の皆様、愛知県バレーボール協会の皆様、モデルチームのパナソニックブルーベルズならびに津アドバンスの選手・スタッフの皆様に、心から感謝を申し上げ報告といたします。

（文責：強化指導普及部長 村上里志）



講義風景



実技（股関節ストレッチ）



実技（オーバーハンドによるネットプレー）



実技（佐々木講師）



選手達とのグループ化の様子